



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月9日

上場会社名 リコーリース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8566 URL <https://www.r-lease.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中村 徳晴
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 大澤 洋 TEL 050-1702-4203
 定時株主総会開催予定日 2023年6月26日 配当支払開始予定日 2023年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	298,889	△1.6	21,242	10.2	21,587	10.6	14,879	10.4
2022年3月期	303,853	△6.9	19,280	10.4	19,522	11.5	13,481	12.2

(注) 包括利益 2023年3月期 14,225百万円 (5.3%) 2022年3月期 13,511百万円 (8.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	482.70	—	7.2	1.8	7.1
2022年3月期	437.34	—	6.9	1.7	6.3

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	1,236,834	211,708	17.1	6,868.14
2022年3月期	1,177,723	201,480	17.1	6,536.27

(参考) 自己資本 2023年3月期 211,708百万円 2022年3月期 201,480百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△16,897	△17,297	43,487	14,119
2022年3月期	9,138	△9,548	△5,791	4,827

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	55.00	—	65.00	120.00	3,698	27.4	1.9
2023年3月期	—	65.00	—	80.00	145.00	4,469	30.0	2.2
2024年3月期(予想)	—	75.00	—	75.00	150.00		32.1	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	306,000	2.4	20,600	△3.0	20,700	△4.1	14,400	△3.2	467.16

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期	31,243,223株	2022年3月期	31,243,223株
② 期末自己株式数	2023年3月期	418,481株	2022年3月期	418,291株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	30,824,856株	2022年3月期	30,824,964株

(参考) 個別業績の概要

1. 2023年3月期の個別業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	280,453	△2.1	19,810	10.7	20,153	11.1	13,966	11.0
2022年3月期	286,374	△8.1	17,897	6.7	18,135	7.9	12,587	9.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	453.10	—
2022年3月期	408.34	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年3月期	1,228,800		207,144		16.9		6,720.07	
2022年3月期	1,170,274		197,781		16.9		6,416.29	

(参考) 自己資本 2023年3月期 207,144百万円 2022年3月期 197,781百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(1) 経営成績に関する分析 c) 次期の連結業績予想」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

a) 当連結会計年度の概況

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	増 減	
			金額	伸率(%)
売上高 (百万円)	303,853	298,889	△4,963	△1.6
営業利益 (百万円)	19,280	21,242	1,961	10.2
経常利益 (百万円)	19,522	21,587	2,064	10.6
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	13,481	14,879	1,398	10.4
1株当たり当期純利益 (取扱高)	437.34円	482.70円	45.36円	10.4
リース&ファイナンス事業 (百万円)	367,780	408,070	40,289	11.0

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が断続的に拡大する時期があったものの、年度後半には感染拡大にも歯止めがかかり、経済活動は正常化に向けた動きが継続しております。企業の設備投資においても、半導体不足に伴う部品の調達難等に関する懸念は後退し、回復傾向となりました。

リース業界において、2022年度のリース取扱高は、前年同期比で1.6%増加し、4兆2,495億円となりました。(公益社団法人リース事業協会統計)

このような状況の中、当社グループにおいては、2020年度よりスタートさせた3ヵ年中期経営計画(中計)の最終年度として、中計で定めた事業成長戦略及び組織能力強化戦略を遂行してまいりました。事業成長戦略の下、中長期ビジョン『循環創造企業へ』実現に向け、事業ドメインであるESGに即した事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は減少しましたが、売上総利益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも増加しました。

b) セグメント別の概況

①セグメント別損益

	売上高 (百万円)			営業費用 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	前期	当期	増減	前期	当期	増減	前期	当期	増減
リース&ファイナンス 事業	293,201	286,483	△6,718	274,410	265,434	△8,976	18,790	21,048	2,258
サービス事業	6,561	7,201	640	5,192	5,873	681	1,369	1,328	△41
インベストメント事業	4,089	5,204	1,115	3,227	4,136	909	862	1,068	206
合 計	303,853	298,889	△4,963	282,830	275,443	△7,386	21,023	23,446	2,422

②セグメント別営業取扱高・営業資産残高

	営業取扱高 (百万円)			営業資産残高 (百万円)		
	前期	当期	増減	前期末	当期末	増減
ファイナンス・リース	229,121	243,398	14,276	511,493	509,737	△1,755
オペレーティング・リース	19,497	23,841	4,343	29,505	33,199	3,693
リース計	248,619	267,239	18,620	540,998	542,936	1,938
割賦	62,627	58,686	△3,940	160,814	157,578	△3,235
融資	56,534	82,143	25,609	221,951	253,706	31,755
リース&ファイナンス事業計	367,780	408,070	40,289	923,764	954,222	30,457
サービス事業	—	—	—	—	—	—
インベストメント事業	27,912	17,415	△10,497	60,490	65,365	4,875
合計	395,693	425,485	29,791	984,254	1,019,587	35,333

【リース&ファイナンス事業】

リース&ファイナンス事業は、融資分野が伸長したことに加え、主力である事務用・情報関連機器のリースについて、半導体不足による納品遅延の影響が解消したことにより取扱高は伸長しました。また、収益性重視の方針の下、新規契約獲得利回りは改善を継続しました。その結果、売上高は減少したものの、融資や再リース、割賦の伸長、貸倒費用の減少により、セグメント利益は増加しました。

【サービス事業】

サービス事業は、集金代行サービスにおいては、既存顧客に対する取扱件数が増加したことに加え、新規成約案件も順調に稼働しました。医療・介護ファクタリングサービスにおいては、新規顧客獲得により、取扱高は増加に転じました。また、当連結会計年度に子会社化した株式会社Welfareすずらの業績を連結業績に反映し、子会社取得関連費用等を計上しました。その結果、売上高は増加しましたが、セグメント利益は減少しました。

【インベストメント事業】

インベストメント事業は、太陽光発電においては、資材不足による工事遅延等により、取扱高は減少しました。住宅賃貸・不動産関連においては、アセットや条件面を厳選したことにより取扱高は減少しました。インベストメント事業における取扱高は減少したものの、営業資産残高は前期末比で増加し、売上高、セグメント利益ともに増加しました。

c) 次期の連結業績予想

	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	2024年3月期予想 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増 減	
			金額	伸率(%)
売上高 (百万円)	298,889	306,000	7,110	2.4
営業利益 (百万円)	21,242	20,600	△642	△3.0
経常利益 (百万円)	21,587	20,700	△887	△4.1
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	14,879	14,400	△479	△3.2
1株当たり当期純利益	482.70円	467.16円	△15.55円	△3.2

2023年度の経営環境は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、経済活動の正常化が継続するものと見込まれます。一方で、円安や海外情勢不安等による物価高、金利市場の変動等、さまざまな不確定要素を抱えている環境にあるものと認識しております。

このような環境の中、当社グループは2023年4月より新たに3ヵ年の中期経営計画をスタートさせ、前中期経営計画から掲げる中長期ビジョン『循環創造企業へ』を目指し、経営理念に掲げる「豊かな未来」の実現に向け、取り組んでまいります。

2024年3月期の連結業績予想につきましては、売上高306,000百万円、営業利益20,600百万円、経常利益20,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益14,400百万円を予想しています。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があることをご承知おきください。

(2) 財政状態に関する分析

a) 資産の状況

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	増 減	
			金額	伸率(%)
総資産 (百万円)	1,177,723	1,236,834	59,111	5.0
営業資産 (百万円)	984,254	1,019,587	35,333	3.6
営業資産以外 (百万円)	193,469	217,247	23,778	12.3
純資産 (百万円)	201,480	211,708	10,228	5.1
自己資本比率 (%)	17.1	17.1	0.0ポイント	

【総資産】

総資産は、営業資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて増加しました。

【純資産】

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による増加、剰余金の配当による減少等により、前連結会計年度末に比べて増加しました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて同水準となりました。

b) キャッシュ・フローの状況

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	9,138	△16,897	△26,035
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△9,548	△17,297	△7,748
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△5,791	43,487	49,278
現金及び現金同等物期末残高 (百万円)	4,827	14,119	9,292

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて増加しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べて支出が増加しました。これは、営業貸付金の増加に伴う支出や貸貸資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べて支出が増加しました。これは、社用資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、前期に比べて収入が増加しました。これは、コマーシャル・ペーパーの発行や長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。

I F R Sの適用につきましては、国内の適用状況を考慮し適切に対応していく予定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,827	14,119
受取手形及び売掛金	10	242
割賦債権	183,783	181,611
未収賃貸債権	30,074	27,369
リース債権及びリース投資資産	511,493	509,737
営業貸付金	221,951	253,706
その他の営業貸付債権	37,383	31,198
その他の営業資産	12,552	12,528
賃貸料等未収入金	13,909	13,406
その他の流動資産	38,590	45,537
貸倒引当金	△12,727	△12,338
流動資産合計	1,041,848	1,077,120
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸資産	61,656	69,141
賃貸資産合計	61,656	69,141
社用資産		
社用資産	26,584	36,952
社用資産合計	26,584	36,952
有形固定資産合計	88,240	106,094
無形固定資産		
賃貸資産	152	42
その他の無形固定資産	3,616	6,883
無形固定資産合計	3,768	6,926
投資その他の資産		
投資有価証券	30,423	31,234
破産更生債権等	482	602
繰延税金資産	4,466	5,511
その他	8,966	9,936
貸倒引当金	△474	△592
投資その他の資産合計	43,864	46,693
固定資産合計	135,874	159,714
資産合計	1,177,723	1,236,834

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,296	19,995
短期借入金	283	—
1年内償還予定の社債	55,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	92,500	103,000
1年内支払予定の債権流動化に伴う長期支払 債務	4,406	14,577
コマーシャル・ペーパー	18,000	36,000
支払引受債務	25,753	20,142
リース債務	73	3
未払法人税等	3,225	4,308
賃貸料等前受金	5,291	4,429
割賦未実現利益	22,969	24,033
賞与引当金	1,198	1,364
役員賞与引当金	59	65
その他の流動負債	31,678	35,805
流動負債合計	280,736	293,724
固定負債		
社債	115,000	85,000
長期借入金	532,500	612,000
債権流動化に伴う長期支払債務	35,594	21,017
リース債務	88	84
退職給付に係る負債	756	764
受取保証金	10,435	11,109
資産除去債務	1,004	1,132
その他の固定負債	127	293
固定負債合計	695,506	731,402
負債合計	976,243	1,025,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,896	7,896
資本剰余金	10,159	10,159
利益剰余金	184,175	195,047
自己株式	△1,690	△1,680
株主資本合計	200,541	211,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	566	△253
繰延ヘッジ損益	428	640
退職給付に係る調整累計額	△55	△102
その他の包括利益累計額合計	939	285
純資産合計	201,480	211,708
負債純資産合計	1,177,723	1,236,834

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	303,853	298,889
売上原価	263,812	255,617
売上総利益	40,040	43,272
販売費及び一般管理費		
支払手数料	4,215	5,421
従業員給料及び手当	5,363	5,925
賞与引当金繰入額	1,198	1,364
貸倒引当金繰入額	2,615	1,272
その他	7,367	8,046
販売費及び一般管理費合計	20,759	22,030
営業利益	19,280	21,242
営業外収益		
受取利息	41	95
受取配当金	211	212
投資事業組合運用益	237	133
その他の営業外収益	35	33
営業外収益合計	525	474
営業外費用		
支払利息	36	49
支払手数料	2	25
社債発行費	218	—
社会貢献型寄付金	—	37
その他の営業外費用	24	17
営業外費用合計	282	129
経常利益	19,522	21,587
税金等調整前当期純利益	19,522	21,587
法人税、住民税及び事業税	6,540	7,420
法人税等調整額	△498	△711
法人税等合計	6,041	6,708
当期純利益	13,481	14,879
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	13,481	14,879

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	13,481	14,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	△819
繰延ヘッジ損益	375	212
退職給付に係る調整額	57	△46
その他の包括利益合計	30	△653
包括利益	13,511	14,225
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	13,511	14,225
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,896	10,159	174,084	△1,716	190,424
当期変動額					
剰余金の配当			△3,390		△3,390
親会社株主に帰属する当期純利益			13,481		13,481
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				26	26
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	10,090	26	10,116
当期末残高	7,896	10,159	184,175	△1,690	200,541

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	968	52	△113	908	191,333
当期変動額					
剰余金の配当					△3,390
親会社株主に帰属する当期純利益					13,481
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					26
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△402	375	57	30	30
当期変動額合計	△402	375	57	30	10,147
当期末残高	566	428	△55	939	201,480

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,896	10,159	184,175	△1,690	200,541
当期変動額					
剰余金の配当			△4,007		△4,007
親会社株主に帰属する当期純利益			14,879		14,879
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				10	10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	10,872	10	10,882
当期末残高	7,896	10,159	195,047	△1,680	211,423

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	566	428	△55	939	201,480
当期変動額					
剰余金の配当					△4,007
親会社株主に帰属する当期純利益					14,879
自己株式の取得					△0
自己株式の処分					10
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△819	212	△46	△653	△653
当期変動額合計	△819	212	△46	△653	10,228
当期末残高	△253	640	△102	285	211,708

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,522	21,587
賃貸資産減価償却費	16,451	16,100
社用資産減価償却費及び除却損	1,879	2,189
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,337	△271
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63	116
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	5
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△103	△58
受取利息及び受取配当金	△252	△307
資金原価及び支払利息	1,410	1,547
社債発行費	218	—
投資事業組合運用損益 (△は益)	△237	△133
割賦債権の増減額 (△は増加)	882	3,235
未収賃貸債権の増減額 (△は増加)	3,747	2,705
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	16,985	1,763
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△21,290	△31,755
その他の営業貸付債権の増減額 (△は増加)	△2,372	6,185
賃貸料等未収入金の増減額 (△は増加)	129	502
賃貸資産の取得による支出	△28,255	△33,926
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,184	△300
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	209	△120
その他	6,230	1,976
小計	17,723	△8,958
利息及び配当金の受取額	180	246
利息の支払額	△1,337	△1,488
法人税等の支払額	△7,428	△6,697
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,138	△16,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△4,479	△3,841
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,089	2,030
社用資産の取得による支出	△7,829	△13,545
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,189
その他	670	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,548	△17,297
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△14,935	△283
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	3,000	18,000
長期借入れによる収入	145,000	182,500
長期借入金の返済による支出	△145,247	△93,315
債権流動化の返済による支出	—	△4,406
社債の発行による収入	59,781	—
社債の償還による支出	△50,000	△55,000
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△3,390	△4,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,791	43,487
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,201	9,292
現金及び現金同等物の期首残高	11,028	4,827
現金及び現金同等物の期末残高	4,827	14,119

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、アセットを活用する「リース&ファイナンス」事業、アセットを使わない手数料ビジネスを中心とする「サービス」事業、及び発電事業や不動産関連事業等へ投資する「インベストメント」事業に区分整理し、事業活動を展開しております。報告セグメントは「リース&ファイナンス事業」、「サービス事業」、及び「インベストメント事業」としております。

「リース&ファイナンス事業」セグメントは、事務用・情報関連機器、医療機器、産業工作機械、計測器等のファイナンス・リース、オペレーティング・リース、割賦(賃貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却等を含む)に加え、法人向け融資・業界特化型融資・マンションローン等の貸付等を行っております。「サービス事業」セグメントは、請求書発行・売掛金回収等の代行サービス、医療・介護報酬ファクタリングサービス、リロケーションマネジメントサービス、介護施設・老人ホーム運営等を行っております。「インベストメント事業」セグメントは、太陽光発電、住宅賃貸・不動産関連等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	リース&ファイナンス事業	サービス事業	インベストメント事業	
売上高				
外部顧客への売上高	293,201	6,561	4,089	303,853
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	293,201	6,561	4,089	303,853
セグメント利益	18,790	1,369	862	21,023
セグメント資産	1,011,816	66,188	72,378	1,150,383
その他の項目				
減価償却費	16,672	115	1,506	18,294
のれんの償却額	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	19,583	332	24,109	44,025

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	リース& ファイナンス事業	サービス 事業	インベストメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	286,483	7,201	5,204	298,889
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	286,483	7,201	5,204	298,889
セグメント利益	21,048	1,328	1,068	23,446
セグメント資産	1,042,228	68,370	87,552	1,198,150
その他の項目				
減価償却費	16,321	80	1,707	18,109
のれんの償却額	—	74	—	74
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	22,599	118	28,364	51,081

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	21,023	23,446
全社費用（注）	△1,742	△2,203
連結財務諸表の営業利益	19,280	21,242

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,150,383	1,198,150
全社資産（注）	27,339	38,684
連結財務諸表の資産合計	1,177,723	1,236,834

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない預金、投資有価証券等であります。

(単位：百万円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額（注）		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	18,294	18,109	25	61	18,320	18,170
のれんの償却額	—	74	—	—	—	74
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	44,025	51,081	59	256	44,085	51,338

(注) 調整額は社用資産にかかるものであります。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
1株当たり純資産額	6,536.27円	1株当たり純資産額	6,868.14円
1株当たり当期純利益	437.34円	1株当たり当期純利益	482.70円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,481	14,879
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,481	14,879
普通株式の期中平均株式数(千株)	30,824	30,824

(重要な後発事象)

該当事項はありません。